



消防団に入団しませんか？あなたの力が必要です！



＜彦根市消防団任用資格＞
男女問わず次の①～③に該当すれば入団可能です。

- ①市内に在住・在勤または在学する者
- ②18歳以上の者
- ③団の職務の遂行に堪え得る心身を有すると認められる者

消防団は、その人員動員力と地元と密着した即応力の高さから、地域の安心・安全、防災の要として欠かすことのできない存在です。しかしながら、年々消防団員数は減少しており、新たな消防団員の確保も、地域によっては難しくなっている状況です。

消防団員が不足することは、地域防災力の低下を意味しています。地域に最も密着した防災組織である消防団に、多くの方の入団をお願いします。

女性消防団員は、災害への対応はもとより、広報活動、予防指導、災害時要援護者対策などの部門で、その能力を発揮した活躍が期待されています。市の女性消防団制度（ヒコネサンフラワーズ）は昭和63年に採用され、現在13名で活動されています。更なる活性化のため、多くの女性の入団をお願いします。

消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示証（下の写真）」を交付し、地域での当該事業所の社会貢献を広報し、地域住民や他の事業所からの理解を一層深め、消防団員の入団促進を図るための制度です。



社会貢献企業としての証です！

【交付の対象】消防団に入団している従業員が2人以上いる事業所や消防団の訓練場所、災害の発生時に事業所の資機材を提供するなど彦根市消防団に積極的に協力している事業所など



特別公開

5月16日(火)まで

「国宝・彦根屏風」

近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を特別公開します。

5月19日(金)～6月20日(火)

滋賀県指定有形文化財 指定記念

「彦根藩筆頭家老木俣清左衛門家文書」

木俣清左衛門（きまたせいざえもん）家には、徳川家康・秀忠や諸大名、井伊家当主からの手紙など貴重な古文書が多数伝来しました。本展では、その中から主要な資料を公開します。



▲徳川家康自筆書状（部分）

■ スライドトーク

【日時】5月20日(土)14:00～(30分程度)

【解説】当館学芸員 【場所】講堂 ※無料(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着50人、受付は13:30～)

講座 私の研究最前線

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究の成果を踏まえて解説します。

「菊満香一琳派に魅せられた幕末の女性画家」

幕末期、近江国の湖東・湖北地方を舞台に、菊の絵をよく描いた「菊満香(万香)」と称される女性がいました。謎に包まれた満香について、



▲菊画賛 太田翠巖賛 吉村満香画 現時点で分かったことを紹介します。(個人蔵)

【日時】6月3日(土)14:00～15:30

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※資料代100円(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着50人、受付は13:30～)

■【休館日のお知らせ】5月17日(水)

■5月16日(火)、同18日(木)は、展示替えのため一部休室します。

チケット情報

ひこね市文化プラザ

6月17日(土) 10:30/14:30 メッセホール
大人の芸術体験 アルコールインクアート講座

【5月6日(土)9:00～受付開始】
【参加費】1,500円 【対象】18歳以上
海外で主流になりつつあるアート技法、アルコールインクアートであなただけの作品を作ってみませんか？



7月30日(土) 10:15/13:00 メッセホール
ベビーといっしょにコンサート2023

出演:アンサンブルMUSE(高木充江、山本哲子、辻寛子、今堀智子)、森有子(手あそび)
【自由】【5月13日(土)9:00～予約開始】一般500円 友の会450円
※大人1人につき未就学児2人まで無料

9月15日(金) 18:30 グランドホール
宝くじ文化公演 キーウ・クラシック・バレエ
チャイコフスキー 夢の3大バレエ名場面集

【指定】【5月20日(土)9:00～予約開始】一般2,000円 高校生以下1,000円 ※当日各500円増

4歳以上 託児あり(3歳以下-有料-要予約)
※宝くじの助成により、特別料金となっております。
※前売りで完売の場合、当日券の販売はありません。
ウクライナのバレエが、重なる困難を乗り越え、2023年再び彦根に！クラシック・バレエの3大傑作から選りすぐりの名場面を上演。初めて観る方もそうでない方も、何度でも心が踊る時間をお贈りいたします。



申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

5月の休館日：1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】

▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備

みずほ文化センター

5月20日(土) 14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席

vol.48「卓内公演」

【自由】【発売中】前売:500円 当日:600円
漫談・森田GM、漫才・よふかしイエロー、落語・笑福亭呂翔/笑福亭枝鶴の4組が出演します。
小学生以上 託児あり(有料-要予約)



6月24日(土)14:00 多目的ホール
人形劇団クラルテ おひさま劇場

「森のちいこちゃん」

「わくわくドツキン!こぶたのりんご」

【4月16日(日)販売開始】
【自由】500円 当日:600円 ※2歳以上有料

関西を中心に全国各地で公演を行っている人気の劇団による、幼児・児童向けの人形劇です。親子・ファミリーでお楽しみください。



申込・お問い合わせ先
みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00～17:00)

5月の休館日：2日(火)、4日(木・祝)、5日(金・祝)、6日(土)、9日(火)、16日(火)、23日(火)、30日(火)

江戸時代初期彦根藩の財政運用

とまきの玉手箱



第320回

このたび、彦根城博物館所蔵の「木俣清左衛門家文書」605点が滋賀県指定有形文化財に指定されました。同文書は、歴代当主が彦根藩井伊家において筆頭家老を務めた木俣清左衛門家に伝来したものです。これらのうち、江戸時代初期の彦根藩の財政運用の様子が窺える資料を紹介いたします。

写真の資料は「已納之金銀入日記」と題する古文書で、金貨・銀貨の彦根城天守への納入について記したものです。冒頭には、慶長12年(1607、未年)正月19日付で、「己年(慶長10年)御台所入仕残り」として、金に換算して約1300両の貨幣が書き上げられています。これらの金銀は、藩領の村々から徴収した年貢米を中心とする己年の藩の収入(己年御台所収入)から、午年(同11年)の支出を差し引いた余剰分と考えられます。当時の相場では米4000石に相当し、藩士の取り分を除いた井伊家の年貢米収入を36000石と試算すると、その約11%にあたります。

続いて資料には、これらの金銀を木俣家初代の土佐守(守勝)が天守に納め、そこに椋原対馬守(正直、彦根藩家老)以下12名の藩士が証人として立ち会ったことが記され、確認の署名がなされています。

さらに、裏面には、慶長19年10月14日付で、これらの金銀の一部が大坂の陣(冬の陣)にあたり井伊家2代直孝の指示で、天守から出され、中野助太夫(三信、彦根城城代)に渡されたこと

ります。徳川家による天下統一に向けた決戦であった大坂の陣への出兵に直面し、井伊家では軍資金が必要となったのでしよう。この時も、木俣家2代目右京(守安)を含む9名の藩士が署名しており、金銀の出し入れには家老単独ではなく複数の藩士の立ち会いが必要だったことがわかります。

この時期は、豊臣家が大坂にあり、戦争の火種がくすぶっていました。江戸時代初期の彦根藩は有事に備え、藩財政の余剰分を、彦根城内の天守という最も安全な場所に金銀貨幣のあたりで貯蓄していました。そして実際、大坂の陣でこれらの金銀が使われたのです。この古文書からは、戦時体制下にあった当時の緊迫感が伝わってきます。



▲已納之金銀入日記(部分)

【彦根城博物館学芸員 竹内光久】
写真の古文書は、テーマ展「滋賀県指定有形文化財指定記念 彦根藩筆頭家老木俣清左衛門家文書」で、5月19日(金)から6月20日(火)まで展示します。